

## 認知症の理解

**問題 39** 次のうち、2019年(令和元年)の認知症施策推進大綱の5つの柱に示されているものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 市民後見人の活動推進への体制整備
- 2 普及啓発・本人発信支援
- 3 若年性認知症支援ハンドブックの配布
- 4 認知症初期集中支援チームの設置
- 5 認知症カフェ等を全市町村に普及

**問題 40** 次の記述のうち、見当識障害に関する質問として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「私たちが今いるところはどこですか」
- 2 「100から7を順番に引いてください」
- 3 「先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください」
- 4 「次の図形を写してください」
- 5 「この紙を左手で取り、両手で半分に折って、私に返してください」

**問題 41** アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)の、もの盗  
られ妄想に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 説明をすれば自身の考えの誤りに気づくことが多い。
- 2 本人の不安から生じることが多い。
- 3 現実に存在しない人が犯人とされる。
- 4 主に幻視が原因である。
- 5 症状の予防には抗精神病薬が有効である。

**問題 42** 慢性硬膜下血腫(chronic subdural hematoma)に関する次の記述のうち、  
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 運動機能障害が起こることは非常に少ない。
- 2 頭蓋骨骨折を伴い発症する。
- 3 抗凝固薬の使用はリスクとなる。
- 4 転倒の後、2～3日で発症することが多い。
- 5 保存的治療が第一選択である。

**問題 43** Lさん(83歳、女性、要介護1)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)である。一人暮らしで、週2回、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用している。

ある日、訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問すると、息子が来ていて、「最近、母が年金の引き出しや、水道代の支払いを忘れるようだ。日常生活自立支援事業というものがあると聞いたことがあるが、どのような制度なのか」と質問があった。

訪問介護員(ホームヘルパー)の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「申込みをしたい場合は、家庭裁判所が受付窓口です」
- 2 「年金の振込口座を、息子さん名義の口座に変更することができます」
- 3 「Lさんが契約内容を理解できない場合は、息子さんが契約できます」
- 4 「生活支援員が、水道代の支払いをLさんの代わりに行うことができます」
- 5 「利用後に苦情がある場合は、国民健康保険団体連合会が受付窓口です」

**問題 44** 認知症ケアの技法であるユマニチュードに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「見る」とは、離れた位置からさりげなく見守ることである。
- 2 「話す」とは、意識的に高いトーンの大きな声で話しかけることである。
- 3 「触れる」とは、指先で軽く触れることである。
- 4 「立つ」とは、立位をとる機会を作ることである。
- 5 「オートフィードバック」とは、ケアを評価することである。

**問題 45** 現行の認知症サポーターに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ステップアップ講座を受講した認知症サポーターには、チームオレンジへの参加が期待されている。
- 2 100万人を目標に養成されている。
- 3 認知症介護実践者等養成事業の一環である。
- 4 認知症ケア専門の介護福祉職である。
- 5 国が実施主体となって養成講座を行っている。

**問題 46** 認知症ケアパスに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 都道府県ごとに作られるものである。
- 2 介護保険制度の地域密着型サービスの1つである。
- 3 認知症(dementia)の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れをまとめたものである。
- 4 レスパイトケアとも呼ばれるものである。
- 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)が中心になって作成する。

**問題 47** 認知症ライフサポートモデルに関する次の記述のうち、最も適切なものを

1つ選びなさい。

- 1 各職種がそれぞれで目標を設定する。
- 2 終末期に行う介入モデルである。
- 3 認知症(dementia)の人本人の自己決定を支える。
- 4 生活を介護サービスに任せたプランを策定する。
- 5 認知症(dementia)の人に施設入所を促す。

**問題 48** Mさん(88歳、女性)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断された。夫と二人暮らしで、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用している。訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問したときに夫から、「最近、日中することがなく寝てしまい、夜眠れていよいようだ」と相談を受けた。訪問介護員(ホームヘルパー)は、Mさんが長年していた裁縫を日中にしてみることを勧めた。早速、裁縫をしてみるとMさんは、短時間で雑巾を縫うことができた。

Mさんの裁縫についての記憶として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 作業記憶
- 2 展望的記憶
- 3 短期記憶
- 4 陳述記憶
- 5 手続き記憶